

令和4年11月8日

取手市議会議長
金澤 克 仁 殿

建設経済常任委員会
委員長 染 谷 和 博

所管事務調査（視察研修）報告書

- 1 視察研修年月日
令和4年11月2日
- 2 視察研修場所及び視察事項
 - ・ 千葉県柏市（デマンド交通について）
- 3 視察研修出席者
建設経済常任委員会委員8名
 - ・ 委員長 染谷 和博
 - ・ 副委員長 海東 一弘
 - ・ 委員 小池 悦子
 - ・ 委員 細谷 典男
 - ・ 委員 山野井 隆
 - ・ 委員 佐藤 隆治
 - ・ 委員 入江 洋一
 - ・ 委員 赤羽 直一
 - ・ 議長 金澤 克仁

4 視察研修報告

デマンド交通「カシワニクル」の視察をしてきました。

柏市は民間バス会社の路線が69系統あり充実していますが、路線バスの運行が少ない南部地域や東部地域において、「かしわ乗合ジャンボタクシー」を運行しています。

「かしわ乗り合いジャンボタクシー」とは、公共交通機関が十分でない地域にお住まいの方や、車のない方が不便のない移動ができるように、柏市が染谷交通に委託して運行している交通機関です。

「タクシー」という名称ではありますが、路線バスのように定められた停留所があり、各停留所で乗降します。コミュニティバスと同等と考えられます。

また、沼南地域において「予約型相乗りタクシー（カシワニクル）」を運行するなど、交通政策において先進的な取り組みを実施しています。（1時間前までの予約制）

地域の皆さんの買物や通院などの日常生活あるいはレクリエーションや観光など、沼南地域の移動手段として予約制の相乗りタクシーが運行しています。

AIを活用するなどしてオペレーター、運転手の負担を減らし効率よく配車しています。

運行エリア内に約500箇所の乗降場所（タク停、ゴミステーション）がある他、逆井駅で乗降可能です。

デマンド交通のシステムは東京大学の大和裕幸研究室が中心となって開発したものを採用しています。

セダン型タクシー2台で一日最高64名利用の実績があります。1日60名以上の利用が続くと市の補助額が大幅に減らせタクシー会社の自主事業化を目指しています。

タクシー会社も今まで利用していない新規顧客の獲得もできる利点もあります。

そのほか、公共交通空白不便地域解消検討エリアにおいて、地域の需要に対応した、日常生活に必要な移動手段の確保に向けて検討を進めていて、富勢地域の利根町会において、町会(運行主体)、タクシー事業者（運行事業者）、柏市（運行支援）の3者で連携し、買い物に焦点を絞った乗合のコミュニティタクシー「とねっこタクシー」の実証実験をしています。

様々な方法で市民の移動手段確保をしているとの実感があります。

取手市においてオンデマンド交通の採用に対して大変参考になりました。